

令和8年度 第1回小平市図書館協議会要録

- 1 日 時 令和8年5月14日（木）午後2時から午後3時12分まで
- 2 会 場 中央図書館 2階会議室
- 3 出席者 委員：落合会長、伊藤副会長、阿部委員、石井委員、平向委員、堀内委員、渡辺委員、
内田委員、三田地委員、宮原委員 計10名（欠席2名）
事務局：松本中央図書館長、吉崎（中央図書館長補佐兼庶務担当係長）、坂元（花小金井図書館長）、菅家（中央図書館サービス担当係長）、田中（中央図書館資料担当係長）、平城（大沼図書館長） 計6名
- 4 傍 聴 なし
- 5 配付資料
 - ・小平市立図書館職員の異動について (資料No.1)
 - ・令和8年度小平市図書館協議会日程 (資料No.2)
 - ・令和8年度小平市立図書館事業計画 (資料No.3)
 - ・小平市立図書館行事等の報告と今後の予定 (資料No.4)
 - ・小平市立図書館休館のお知らせ (資料No.5)
 - ・令和7年度「市長への手紙・図書館への私の意見等」集計結果 (資料No.6)
 - ・月別館別貸出資料数 (資料No.7)
- 6 職員の人事異動
資料No.1のとおり
- 7 議事
 - (1)報告事項
 - ①令和8年度図書館協議会開催日程について（資料No.2）
事務局：今年度は、本日も含めて6回の定例会の開催を予定している。日程が変更となる場合などは、早めに通知する。
 - ②令和8年度小平市立図書館事業計画について（資料No.3）
事務局：昨年度の第6回の図書館協議会で承認された計画である。この事業計画に基づいて事業に取り組んでいく。
 - ③図書館運営状況について・図書館行事等の報告と今後の予定について（資料No.4）
事務局：令和7年第6回会議後から令和8年度第2回会議までの行事等と今後の予定について報

告する。

4月から行っている「こだいらこども読書週間」は、全館で展示やイベントを実施しており、5月20日で終了する予定である。読書ノートに記載して持ってきたこどもたちには、各館で賞状やプレゼントを渡しているが、賞状を読み上げられると、恥ずかしそうにしているこどもが多く見受けられた。

読書週間以外にも、各館で色々なイベント・展示を行っている。4月18日からは、花小金井図書館で「花小の100冊」という花小金井小学校推奨図書の展示を行っており、5月7日からは、喜平図書館で「ペットそっくりものがたり」という、利用者からペットの紹介文を募って、ペットにちなんだ本の展示をするという内容のイベントを行っている。

5月17日には、仲町テラスまつりの中で、「親子で楽しむライブラリーコンサート」の5回目を仲町図書館主催で行う。これまでは国立音楽大学のサークルのメンバーと行ってきたコンサートだが、今回は桐朋学園大学のサークルのメンバーと行う予定であり、サクソフォンの4人組の演奏と曲にちなんだ本の紹介を行う予定である。同日午後には、中央図書館において、今まであまり実施してこなかったティーンズ世代を対象としたイベントとして、本づくりのワークショップを行う。

5月28日と6月4日には同じく中央図書館で全2回の絵本の読み聞かせ実践講座がある。その後、蔵書点検を行うため、臨時休館となる。

6月20日には小川西町図書館で、館の移転にあたり、昭和55年開館当時の小川西町図書館の写真を展示する「郷土写真展示」を行う予定となっている。

6月27日には、中央図書館ギャラリー展示にちなみ、テーマである「雑誌工芸」の美についてギャラリートークを行う予定であったが、日にちが講師との調整で6月28日に変更となった。

7月には中学校でブックトークを予定している。

7月11日には、中央図書館で児童文学講演会を行う予定である。講師は、「11ぴきのねこ」を書いた馬場のぼる先生の担当であった、こぐま社元編集長の関谷裕子さんという方で、「11ぴきのねこ」の作品をメインに、その他児童書の話をしてもらう予定である。市報6/5号に掲載して募集する予定である。

④小平市立図書館の臨時休館について（資料No.5）

事務局：この度の図書館の臨時休館は、所蔵している資料があるべき場所に収まっているかどうかを確認し、行方不明の資料がないかを点検する蔵書点検のためのものである。

臨時休館は、11の館及び分室を4つのグループに分け、6月9日（火）から6月26日（金）までの間で4日間または5日間の日程で予定している。

市民への広報については、市報、ホームページ、ポスター、チラシ等で周知する。

⑤令和7年度「市長への手紙・図書館への意見等」集計結果について（資料No.6）

事務局：令和7年度の件数は52件となった。種類別としては、多い順に電子メール、市長への手紙、図書館への私の意見となっている。

回答については、メールアドレスや住所の記載がある場合には行っている。
受付場所別件数の欄に市民相談とあるのは、市役所本庁1階にある市民相談担当のこと
である。
主な意見・要望等は資料に記載のとおりである。

⑥令和7年度月別館別貸出資料数等について（資料No.7）

事務局：記載の数値は速報値であり、今後、変更となる可能性がある。

資料No.7-1では、月別館別貸出資料数の令和7年度上半期分を掲載している。館別の欄の
一番右にある「その他」は、館内OPACやWeb OPACで利用者自身が延長の手続きをした件
数となる。貸出資料数については、夏休みとなる7月、8月がピークとなっている。

資料No.7-2では、令和7年度の下半期分と年度計、前年度対比を掲載している。貸出資料
数については、11月がピークとなっている。11月1日からの新システム更新に伴い、
10月14日から31日まで臨時休館していたこともあり、11月に貸出数が多かったと
考えている。

資料No.7-3では、上段に新規の登録者数、下段に貸出者数を掲載している。上段の登録者
数では、やはり夏休み時期の7月と8月が多くなっている。また、11月も多くなってい
るのは、10月の臨時休館の影響と11月18日から電子図書館が開始されたことによる
ものと考えている。下段の貸出者数は、夏休み時期の7月と8月が多くなっている。

資料No.7-4では、上段に広域利用の貸出者数、下段に貸出資料数を掲載している。広域で
は東村山市民の方の利用が最も多く、次いで西東京市民、東久留米市民、国分寺市民と続
いている。

報告事項についての意見・質疑応答

委員：資料No.7-3の「月別館別登録者数」について、合計で5,000人程が新規登録してい
るが、何市の方が登録したのかを知りたい。また、令和7年度における小平市の人口増加
率と新規登録者数の比率など、5,000人という数字の意味するところを知りたい。

事務局：そのような数値は出していない。

事務局：他市の住人には市内在学・在勤の人もおり、また、一時的に小平市に滞在する人なども
おり、ライフスタイルが変わってきているので、全体の数のみを捉えている。少子高齢化や
人口減少の中で、この数を保てるように周知の仕方を考えたい。

委員：では、市民の何パーセントが登録しているのか。

事務局：令和6年4月1日現在で、登録者数は13万9,629人、人口は19万6,493人で
ある。

事務局：転出したが登録はそのまま残っている人も含まれている。5年で失効となるが、実稼働人
数は登録者数よりも少ない。

委員：他市よりも登録率は高いのか。

事務局：令和6年度4月1日現在で71.1パーセントである。

事務局：他市の情報が手元にないが、昨年や一昨年くらいのデータだと上位だったと記憶してい

る。他市とは統計の方法が違うかもしれないが、小平市は図書館数や蔵書数が多いので登録される方も多い。

委員：そういうところをもっとアピールできるといい。

事務局：多摩26市の館長会議でも情報交換は行っており、広域連携の中で多くの人に利用してもらえたらいいと考えている

委員：統計の数値の動向が分かるようにしてほしい。市民の何割が登録しているのかはアピールしやすい。統計の数値について職員が考える時間を取った方がよい。数値は比較したり比率で出さないと分からない。

会長：せっかく毎年統計を取っているので、数字を活用して報告書に出してほしい。せめて、登録者数が人口増に比例しているのかは出してほしい。また、登録が有効期限切れとなった数は把握できるのか。

事務局：図書館システムで把握できるか確認する。

会長：配付された統計資料は数字が多すぎて分かりづらい。動向さえ分かればいい。

事務局：データを取りすぎているので、3年から5年くらいの期間でまとめた方がいいと考えている。見直しを検討したい。

会長：今まで毎年取り続けてきたデータも大切にしてほしい。これに加えて数字の意味をアピールできるような資料にするのも一つの方法であるとする。

委員：経年変化が分かるようにしてほしい。貸出者数は年々減っていると思うが、他の自治体との比較などの分析結果も時折統計資料に入れてほしい。

事務局：データの在り方を研究する。

委員：館別のデータを抽出するなら、地域の人口や各館の蔵書数との比率が分かるようにするとデータに意味が出てくると考える。

会長：蔵書点検があるので、紛失本の数も経年で分かるといい。グラフ化することも考えてほしい。

委員：資料No.6「市長への手紙・図書館への私の意見等」について、各館に意見箱があるのか、そして意見を受けた時の対応を知りたい。館長会議等に諮るのか。

事務局：各館に設置してある。全館に関わるものなら会議に諮るが、内容によっては担当館が決裁を経た上で回答する。

委員：電子メールでも意見を述べられるようだが、ホームページ等で周知しているのか。

事務局：ホームページに問い合わせフォームがある。

委員：意見を述べる場所を人の目に付きやすくすると、もっと意見を出しやすくなると思う。

事務局：カウンターで直接意見を述べる方もいる。お礼や感謝の言葉をもらうこともある。今後も分かりやすくする工夫をしていく。

委員：図書館にも市長への手紙のQRコードを掲載したらよい。

事務局：参考にさせてもらう。

委員：要望や質問の内容と回答した内容を張り出すなどして周知できないか。

事務局：個人的なものが多いので難しい。一方的な意見も多い。連絡先が分かるものは個別に回答するようにしている。問合せに応じた適切な対応を取っている。

委員：52件の意見があったようだが、何件くらいが検討する価値があったのか。

事務局：対応が難しい個人的な意見が大多数である。蔵書が少ない、施設が使いづらい等の意見については、個別に対応することは難しいが、貴重な意見であるため、集約して記録している。

委員：例えば、トイレはすぐに洋式化できない理由等は周知したほう市民の理解を得られると思う。

事務局：市議会での質問に対する回答としてお知らせしたり、個別の問合せに対して回答したりしている。

委員：個人の意見に同調している人も多くいると思うので、これを改善の機会にしてほしい。

会長：意見収集の場があることを広報してほしい 強化月間等があるといい。
メールでのやり取りは多いのか

事務局：仕事等で日中に電話連絡ができない方が中心で、人数としては多くない。メールだとニュアンスが伝わりづらいのでやり取りが多くなる。頻度としては2か月に1通程度である。図書館のカウンターで質問される方が多い。

委員：利用者懇談会など開けるといい。

事務局：多く利用される方は、日ごろから来館しているので話す機会がある。

委員：資料No.4「小平市立図書館行事等の報告と今後の予定」について、5月17日のティーンズワークショップは、定員10名の中で何名の応募があったのか知りたい。

事務局：応募者数はちょうど10名に達したところである。中高生が多い。

委員：ティーンズ向けの企画は他にもあるのか

事務局：具体的に決まっているものはないが、検討している。

委員：4月18日からの「花小の100冊」のような企画が後に続けばいいと思う。

会長：「花小の100冊」について、企画の経緯や反応について教えてもらいたい。

事務局：学校で人気のある図書を図書館に借りに来るこどもがいるが、点在していると見つけづらいので、1か所にまとめて「花小の100冊」という題をつけることで、小さいこどもでも見つけやすくした。学校で配っている推奨図書の冊子も置いている。好評であり、ほとんどの図書が借りられている状況である。他の小学校からも声が掛ければ同様のことを行いたい。

委員：他の図書館でも同様の企画を行っているのか。

委員：仲町図書館には二小向けの常設展示がある。

会長：各館で行うには学校からの働きかけがないと難しいと思う。学校によって熱意が異なる。
4月3日の学校司書の新任研修は、参加者が2名しかいなかったのか。

事務局：新任司書の2名のみが対象のため、この人数となっている。

事務局：4月15日に全体の研修を行った。

委員：資料No.6「市長への手紙・図書館への私の意見等」について、仲町テラスの席を増やしてほしいという意見に同調する。

事務局：椅子も設計者の意匠なので難しい。

事務局：公民館の空きスペースを開放する等で対応している。

委員：利用者のことを優先した施設にしてほしい。

会長：空きスペースを開放することは広報してほしい。

委員：「花小の100冊」について、読んだ児童にポップ作ってもらってはどうか。書店では一般読者が作ることもある。利用者と図書館の距離が縮まるし、本を手にとってもらいやすくなる。

事務局：学校司書に相談して検討する。

(2) 協議事項

なし

(3) その他

なし

(次回、令和8年7月14日(火)午後2時から開催予定)